

2019年11月13日

輸送動向について（2019年10月分）

1. 輸送概況

今月は、台風19号の接近・上陸に伴って東北・武蔵野・中央線が不通となった。10月29日に全面運転再開となり、復旧までの間、トラック・船舶による代行輸送および日本海縦貫線を経由した迂回運転を実施した。

コンテナは、エコ関連物資である関東地区内の建設発生土輸送が順調に推移したほか、積合せ貨物、自動車部品では、前年に発生した「平成30年7月豪雨」により、九州発着貨物が大きく反動増となった。一方、台風19号の影響により、北海道発をメインとする農産品・青果物、東北に大規模な生産拠点が所在する紙・パルプ、北日本向けの輸送が影響を受けた関東発の食料工業品が大幅な減送となった。その結果、コンテナ全体では前年比87.5%となった。

車扱は、石油が消費税増税後の反動により減送となったほか、台風19号の影響により輸送が滞ったことから、車扱全体では前年比82.9%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比86.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,584	1,811	87.5%	12,003	11,080	108.3%
車 扱	629	759	82.9%	4,656	4,734	98.4%
合 計	2,213	2,571	86.1%	16,660	15,814	105.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	163	226	-63	72.1%
	化学工業品	140	159	-19	88.1%
	化学薬品	106	110	-4	96.8%
	食料工業品	241	277	-36	86.8%
	紙・パルプ	183	247	-64	74.1%
	他工業品	106	123	-17	86.4%
	積合せ貨物	235	229	6	102.6%
	自動車部品	66	62	4	105.4%
	家電・情報機器	30	34	-4	88.6%
	エコ関連物資	46	39	7	117.4%
	その他	268	304	-36	88.0%
	コンテナ計	1,584	1,811	-227	87.5%
車 扱	石油	383	499	-116	76.7%
	セメント・石灰石	131	139	-8	93.9%
	車 両	64	76	-12	84.4%
	その他	51	45	6	114.5%
	車 扱 計	629	759	-130	82.9%
合 計		2,213	2,571	-358	86.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)